

# ユニック車、クレーン伸ばしたまま移動

[ 2015/2/2 20:06 ]

2日午前10時すぎ、静岡県で道路脇の民家にユニック車が突っ込み、木の塀をなぎ倒した。事故当時、家には2人が居たが住宅部分は外壁が崩れた程度で、けが人はいなかった。ユニック車は現場近くで自動販売機の搬出入作業をしていた。その後、作業員がクレーンを下ろすのを忘れ、伸ばしたまま移動してしまい、電線に絡まってしまったことが事故原因とみられている

## 交差点、右折時、横断中の女性はね重傷負わず

◆青信号になった直後に右折 確認不足◆

[ 2015/2/2 11:55 ]

1日午後7時半ごろ、熊本県で軽乗用車が横断歩道を渡っていた女性をはねて重傷を負わせる事故があり、車を運転していた77歳の男が現行犯逮捕された。警察によると、男性容疑者は軽乗用車で交差点を右折した直後に、横断歩道を渡っていた歩行者をはねた疑い。容疑者は1人で買い物から帰宅するところで、「直前に歩行者に気付いた」という趣旨の話をしているという。現場は信号機のある交差点で、容疑者は青信号になった直後に右折したとみられるが、ブレーキの跡は残されていなかった。警察は容疑者の不注意が原因とみて調べている。

- ・正面衝突は、12～14時に多い（ハンドルやブレーキなどの操作ミスが原因）
- ・人対車両は、16～20時に多い（前方不注意が原因）

- ・市街地、交差点付近の凍結路面で追突、衝突
- ・慣れにより、路面のすべりやすさを忘れてスリップ
- ・地吹雪など視界不良時の多重事故
- ・除排雪作業中でのバック事故

## 荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ 交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

“ぼんやり”は、事故のもと、緊張感をもって！

## 凍結路面、救助の女性、後続車にひかれ死亡

2015/02/02

1日午後3時半ごろ、秋田県の東北自動車道のトンネルで、大工の男性（59）の軽ワゴン車が縁石に乗り上げて横転した。助手席に乗っていた妻（57）が車外に出た直後、後続車にひかれ、約20分後に死亡が確認された。男性も右肩打撲の軽傷を負った。横転後、後続車7台が追突事故を起こしたが、他にけが人はなかった。横転後、男性がぐったりしていた妻を救助しようと車外に引っ張り出した際、妻が後続車にひかれたという。夫妻は帰宅途中だったとみられる。事故当時、路面は凍結状態だった。

## またクマ、作業員重傷 厚岸国有林 近くに巣穴

(2015/02/03 07:00)

【厚岸】2日午後2時35分ごろ、釧路管内厚岸町上尾幌の国有林で、樹木の調査業務を行っていた森林林業調査研究所（帯広市）の作業員の男性（74）がヒグマに襲われ、顔などを引っかけられて重傷を負った。厚岸署などによると、12人で2日午前8時から樹種ごとの太さや高さなどを調べ、伐採する木の選定作業を行っていた。3人一組で作業中、突然ヒグマが現れ、男性が襲われたという。事故現場は釧路管内標茶町との境界付近。1月26日には、直線距離で約15キロ離れた標茶町塘路原野で別の会社の林業作業員がヒグマに襲われ、死亡する事故が起きているが、同研究所は特にクマの対策をとっていなかったという。